

◆経済倶楽部講演会第4402回（2月4日）

# 習近平政権の正念場と2022年の 中国経済の展望

東京財団政策研究所主席研究員

柯<sup>か</sup>

りゅう  
隆

- \*ネオ・チャイナリスクとは何か
- \*世界に影響する中国のゼロコロナ政策
- \*衝突抑止に向けた米中間の動き
- \*発表される経済指標の信用度
- \*習近平が「安定」を叫ぶ理由
- \*対米貿易の大幅黒字が意味するもの
- \*大規模停電はなぜ起きたのか
- \*不動産バブル崩壊の予兆
- \*「中国製造2025」に欠けているもの
- \*細くなってきた日中間のパイプ



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）  
本日は一昨年11月においでいただいた柯隆さんです。私どものアンケートでも人気が高いへん高い方でいらっしやいます。先ほど控室でお話を伺いましたら、1番を指すんだとおっしゃっておられました。今日もたいへん有意義な楽しいお話を伺えると思います。

63年に中国の北京でお生まれになり、日本の愛知大学、名古屋大学の大学院を出られた後、長銀総研、富士通総研で研究され、それから現在の東京財団政策研究所で主席研究員をされておられます。中国についてはもとより、現地の情報、それから中国人の考え方、いろいろなものを踏まえてたいへん的確な情報をお話しになります。皆さんも多くの方が中国はどうなっ

いるんだと気にしておられますので、今日はじっくりとお話を伺いたいと思います。  
それでは柯隆さん、よろしくお願いいたします。（拍手）

**ネオ・チャイナリスクとは何か**

**柯** 皆様こんにちは。ただいまご紹介いただいた柯です。

まず、マスクを外していいと事務局も言われましたので、マスクを外してお話させていただきます。

今理事長にご紹介いただいたのですけれども、1点だけ訂正させていただくと、生まれが北京ではなくて南京でございます。北京は共産党の首都で、南京は国民党の首都でした。とりわ